

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 2 月 16 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【都筑工場にてドイツ学園の園児たちがごみ分別クイズに答える様子】

フランクフルトのプロバレーボールチームで、横浜出身の大竹選手が活躍中です

ドイツの男子バレーボール・ブンデスリーガ1部でフランクフルトに本拠地を置く「ユナイテッド・バレーズ」で現在、横浜出身で全日本代表でもある大竹壱青選手が活躍されています。



1月の最終日曜日、ホームで行われた試合に、横浜市フランクフルト事務所のスタッフが応援に行ってきました。大竹選手からは、ご自身の出身である横浜とパートナー都市であるフランクフルト市のチームでプレーできることはとても嬉しい、というコメントを頂きました。



ドイツ・フランクフルトのゲーテ大学への留学記

平成28年5月、横浜市立大学国際総合科学部とドイツの名門大学であるゲーテ大学経済・経営学部が協定を締結し、それに基づき、

昨年秋から横浜市立大学の金子実夢さんがゲーテ大学で一年間にわたる留学をされています。本人にその留学生活について、インタビューしました。

Q. ドイツに留学しようと思ったきっかけは？

A. 専攻の経済学を英語で、海外の大学で勉強したいと思ったからです。経済大国のドイツ、しかも、ゲーテ大学のあるフランクフルトは、経済・金融の中心地という点にも大きな魅力を感じました。



Q. ゲーテ大学では、どのような講義を選択していますか？

A. マクロ経済学やゲーム理論、起業論、AI（人口知能）やドローン等の最新技術に関する講義など、経済・経営に関する幅広い分野を選択しています。もちろん、語学としてドイツ語の授業も受けています。

Q. 大学の講義やドイツでの暮らしを通して、学んだことは？

A. ドイツでは、大学の事務局や寮の管理人さんとのやり取りにおいて、実際に足を運んで

“交渉”することが大事だと実感しています。違う国では特に、自分から主体的に主張することの重要性を学びました。

Q. 将来の夢や目標などはありますか？

A. ドイツで実際に生活を送る中で、人に助けってもらう事のありがたさを感じています。将来は、他の人を助けてあげられるような自分になりたい、とより強く感じるようになりました。



都筑事務所及び都筑工場をドイツ学園の園児が訪問しました

2月6日にドイツ学園の園児たちが、資源循環局の都筑事務所及び都筑工場（焼却工場）に見学に行きました。

ドイツ学園とは”環境問題”テーマにした交流を深めており、幼稚科の園児たちもごみ分別クイズや収集車両見学に楽しみながら参加していました。

都筑事務所ではドイツ語表記のパンフレットを配布するなど、区内在住のドイツ語圏の皆様にも、ごみの出し方をわかりやすく伝えています。

